

**平成28年8月台風災害における北海道及び東北地方での
緊急的な治水対策等について**

平成28年12月

北海道緊急治水対策プロジェクト

～北海道 H28一連台風災害対応の河川整備等～

◆ 北海道では8月17日から31日までの2週間に4つの台風の影響で、道東を中心に記録的な大雨となり、十勝川や常呂川、空知川などで堤防決壊等により、多くの家屋や農地が浸水し、道路冠水、及び橋梁損傷など、甚大な被害が発生。



観測史上初めて3個の台風が上陸
さらに台風10号の接近で被害発生

石狩川水系空知川
堤防決壊等による氾濫状況

常呂川水系常呂川
堤防越水等による氾濫状況

十勝川水系ペケレベツ川
河岸侵食等による家屋流出状況

■大きな被害を受けた河川を中心に、関係機関が連携し、ハード・ソフト一体となった緊急的な治水対策を実施。

被害の特徴、北海道の特性等を踏まえた対策方針

- 生産拠点・空間の災害対応力の強化
- 農作物を守り全国の消費者に貢献
- 住民・関係機関一体となって、減災に向けた取り組みを実施

<ハード対策>

再度災害防止を目的とした改良復旧など、本格的な堤防整備や河道掘削等を概ね4年間で集中的に実施。

◇実施河川

- 国管理河川：十勝川水系十勝川、常呂川水系常呂川、石狩川水系空知川など
- 道管理河川：十勝川水系芽室川・ペケレベツ川・パンケ新得川 など

◇事業内容 ・堤防整備 ・河道掘削 ・護岸整備 など

- ◇実施事業 ・河川災害復旧事業^{※1} ・河川災害関連緊急事業^{※2} ・河川災害復旧等関連緊急事業^{※3} など

<ソフト対策>

住民の避難を促すソフト対策を関係機関と連携して実施。

- ◇「減災対策協議会」にて検討された取組方針に基づく減災のための取組を、北海道・市町村・国等により連携して推進。
- タイムラインの作成・改良の加速化及びこれを活用した訓練の実施
- 水位周知河川等への指定及び浸水想定区域図・ハザードマップの公表を推進
- 国管理河川について、洪水情報のプッシュ型配信を推進
- 住民参加型の共同点検の推進、水防災に関する啓発活動の強化

農地復旧との連携

- 一連台風では農業関連の被害が甚大。その影響が全国に波及。農作物と一緒に土壌も流出。
- 土壌流出対応として、河道の掘削土の活用を調整するなど、農地復旧と連携。

※1: 河川災害復旧事業(災害復旧): 洪水等により被災して施設を原則とした原形に復旧する事業、 ※2: 河川災害関連緊急事業(災害関連): 被災施設の原形復旧のみでは効果が限定される場合等において、改良復旧することにより再度災害を防止する事業
※3: 河川災害復旧等関連緊急事業(復緊事業): 災害関連事業等による影響が発生する下流区間において緊急的かつ集中的に治水対策を実施する事業

北海道緊急治水対策プロジェクト ハード対策の概要

◆国が管理する河川やダム及び北海道が管理する河川において、堤防や護岸など河川管理施設の被災やダム貯水池に大量の流木が流入。このため、原形復旧のための河川災害復旧事業(災害復旧)や、再度災害防止のための河川災害関連緊急事業(災害関連)及び河川災害復旧等関連緊急事業(復緊事業)により、国・北海道管理河川あわせて**約700箇所**において緊急的、集中的に堤防整備、河道掘削や流木除去などの**ハード対策を実施**。

国管理河川・ダムの概要

全体：108箇所(約317億円)

【原形復旧】

・災害復旧 81箇所(約145億円)

【再度災害防止】

・災害関連 25箇所(約46億円)

※石狩川の一般改修における災害推進費(1箇所)含む

・復緊事業 2箇所(約127億円)

注)四捨五入の関係で合計値は一致しない

石狩川水系 28箇所(約65億円)

【原形復旧】

・災害復旧 22箇所(約43億円)

【再度災害防止】

・災害関連 6箇所(約22億円)

※一般改修における災害推進費(1箇所)含む

石狩川水系空知川の堤防決壊状況



湧別川水系 3箇所(約8億円)

【原形復旧】

・災害復旧 3箇所(約8億円)

常呂川水系 32箇所(約62億円)

【原形復旧】

・災害復旧 19箇所(約24億円)

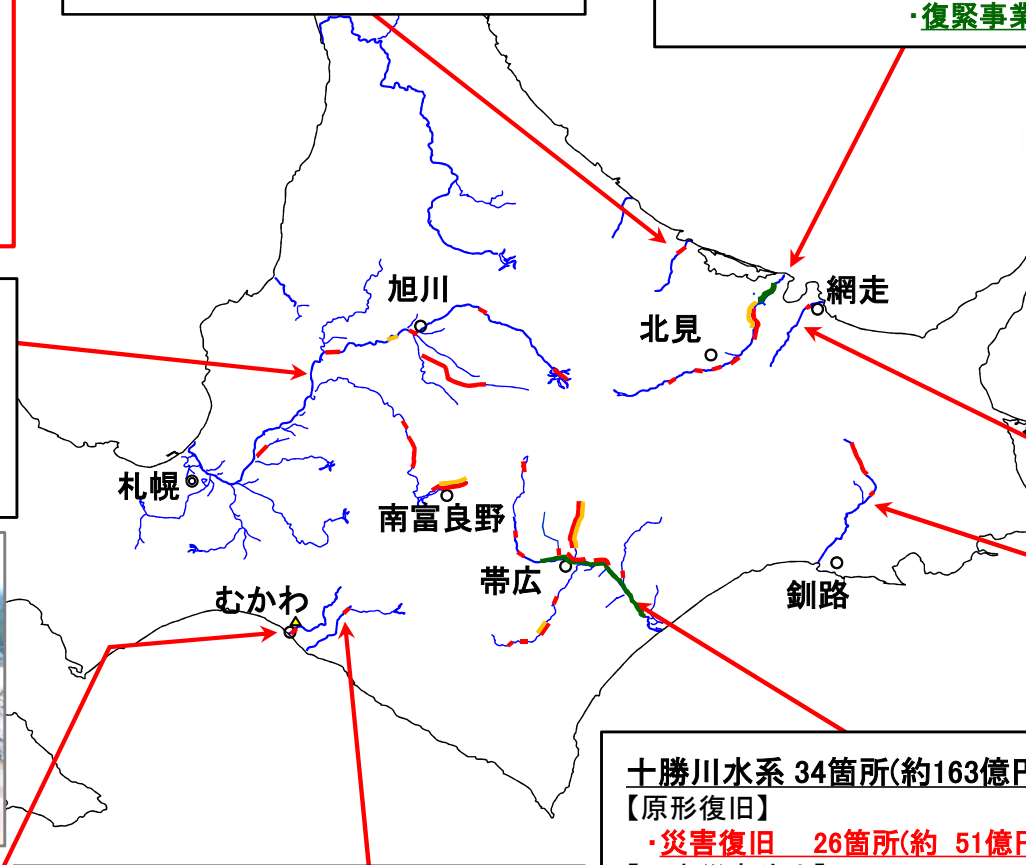
【再度災害防止】

・災害関連 12箇所(約15億円)

・復緊事業 1箇所(約23億円)

凡例
 ■ : 災害復旧
 ■ : 災害関連
 ■ : 復緊事業

常呂川水系常呂川の浸水状況



網走川水系 1箇所(約1億円)

【原形復旧】

・災害復旧 1箇所(約1億円)

釧路川水系 8箇所(約14億円)

【原形復旧】

・災害復旧 8箇所(約14億円)

十勝川水系 34箇所(約163億円)

【原形復旧】

・災害復旧 26箇所(約51億円)

【再度災害防止】

・災害関連 7箇所(約8億円)

・復緊事業 1箇所(約104億円)

十勝川水系札内川の堤防決壊状況



鷓川水系 1箇所(約2億円)

【原形復旧】・災害復旧 1箇所(約2億円)

沙流川水系 1箇所(約2億円)

【原形復旧】・災害復旧 1箇所(約2億円)

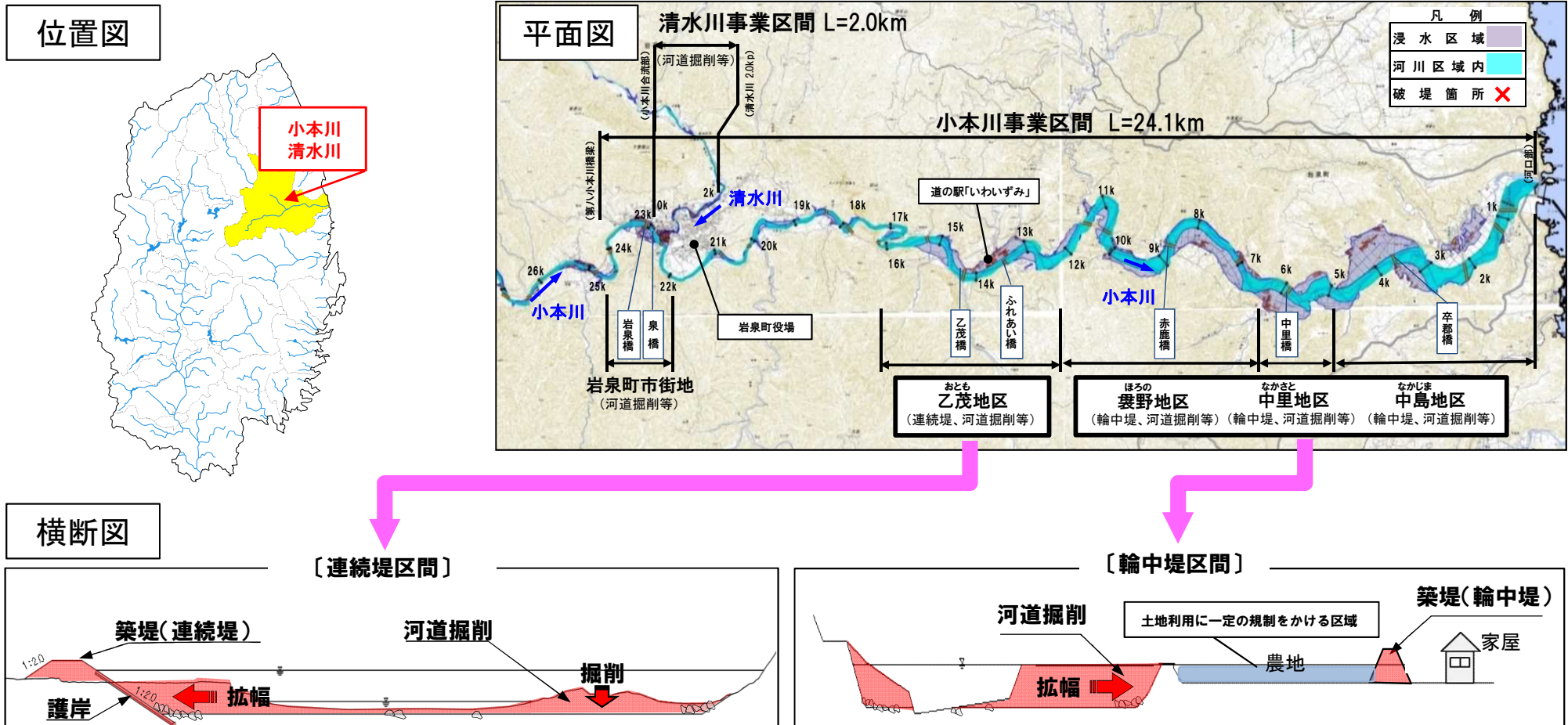
北海道管理河川の概要

全体：約600箇所(申請予定箇所含む)

災害復旧、災害関連等
 (十勝川水系芽室川など)
 ※ 災害査定は年内に完了予定

小本川・清水川 河川激甚災害対策特別緊急事業(激特事業)

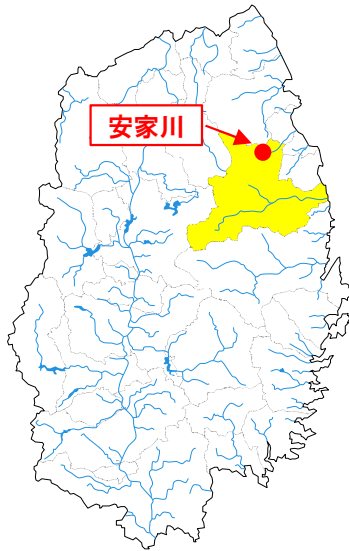
- 平成28年8月29日から30日にかけての台風10号に伴う豪雨により、岩手県岩泉町で記録的な大雨となり、小本川流域で甚大な被害が発生。
- 今回の災害を踏まえ、激特事業を採択し、平成28年度から概ね5年間で緊急的に河道掘削、築堤等を実施することで、今回と同程度の出水に対する家屋浸水被害の早期解消を図る。
- 甚大な被害が生じた乙茂地区においては、被災した要配慮者施設や道の駅等の重要な施設が小本川沿いに位置していることから、連続堤の築造及び河道掘削を実施。
- 連続堤で整備する場合に比べて効果的かつ効率的な地区では、輪中堤の築造等のハード対策と併せて土地利用に一定の規制をかけることを検討。



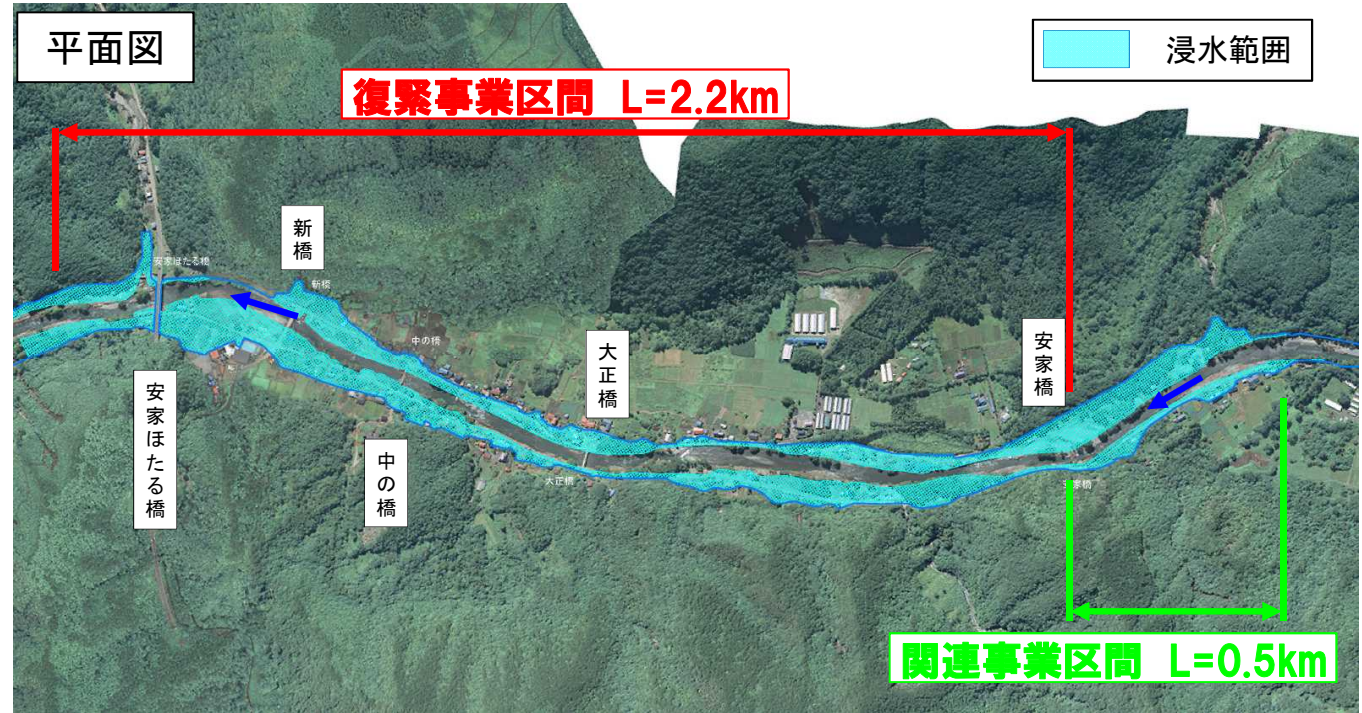
安家川 河川等災害関連事業(関連事業)・河川災害復旧等関連緊急事業(復緊事業)

- 平成28年8月29日から30日にかけての台風10号に伴う豪雨により、岩手県岩泉町で記録的な大雨となり、安家川流域で甚大な被害が発生。
- 今回の災害を踏まえ、関連事業及び復緊事業を採択し、平成28年度から概ね4年間で緊急的に河道掘削等を実施することで、家屋浸水被害の早期解消を図る。
- 掘削土を道路盛土へ有効利用することにより、浸水被害に対する地域の安全性を高める。

位置図



平面図



横断図

